

私たちは千福が丘の汚水処理の移管を知りたい!

裾野市役所 水道部 上下水道工務課

話を聞いた人

の方にお話を伺いました!



大澤(一丁目在住) 中嶋(二丁目在住)

千福が丘の汚水処理を裾野市に

移管するには **2つの方法** があります。

千福が丘の汚水処理の方法は下記の方法もあります。

その他の方法もありそうですが、ここでは移管のA案とB案を説明します。

- ① 現状のまま。
- ② 現状のままだけれども、市から補助金などを支援してもらう。
- ③ 各家庭に合併浄化槽を設置する。
- ④ 数十件の小さなグループで集合合併浄化槽を設置する。

ちなみに現在、移管の「する」「しない」は裾野市では全く決まっていません。令和5～6年度に公共下水道区域からはずす(公共下水道につながらない)かどうかのみ検討します。その際には、必ず住民説明会も実施いたします。ご安心下さい。



A案 現在の汚水処理場を市の施設として使う

方法

経年劣化(築約40年)による下水管と汚水処理施設の建物等を国の基準に合わせて、補修修繕する。その補修・修繕費は組合員の負担となります。

汚水処理の業者に委託管理してもらう。(市役所の職員には汚水処理施設の専門家はいない。)

※ちなみに裾野市の汚水処理は静岡県の狩野川西部浄化センター(沼津市原)で行なっています。

施設の維持管理の基準は国の基準に合わせる必要があります。

※水質ではなく、施設や建屋等下水管そのもの基準です。

現在の下水管および汚水処理施設の補修費は、組合員負担となります。

委託となるため現在の管理費より、高くなる可能性があります。

○補修費の組合員負担 (口数に応じて分割負担)

【推定金額 5億円～15億円 全口数 1218口 一口あたり 41万円～123万円】

○下水処理費の値上げの可能性が高くなります。

※組合員とは千福が丘に土地をお持ちの方です。大多数の方は一つの区画で一口になります。